



時習

2024
No.14

嬉野市立嬉野小学校
学校だより
文責 中野 宗利
令和7年1月16日

◎ 2025年子供たちが更に成長できますように!!

新年が始まり、子供たちも新たな気持ちで2学期後半を頑張っています。8日のオンライン集会では、今年の干支である巳（蛇）は十二支の中で唯一脱皮する動物であることを話しました。そして、自分自身が一皮むけて新たな自分になるとしたらどんな自分になりたいですかと問いかけました。また、その自分になるためには何が足りていませんかとも尋ねました。なりたい自分に向けて自分なりに目標を立て、そのためにすべきことを考えて、少しずつ取り組んで成長してくれたらと考えています。今までよりも10%程度多めに努力したら達成できそうな小さな目標の積み重ねで、大きな目標の達成に近づくのではないかと思います。ご家庭でもお子さんがやりたいこと、やるべきことをしっかりできるよう応援いただき、後押しをよろしくお願いいたします。



◎ 佐賀新聞「わかもの」の欄に掲載されました！

佐賀新聞に新たに掲載された5年生5名、6年生3名の意見文を紹介します。

世の中になつてほしいです。」

私にとって、あいさつとは、人と仲良くなるための大事なアイテムです。「いかのおすし」が必要でなくなり、みんなが住みやすい

今では、知らない人と関わらないような、「いか（いかな）」の（のらない）・お（大きな声で）・す（すぐ逃げる）・し（知らせる）をおぼえます。いろいろな犯罪から自分の身を守るためには大切な言葉です。

まだはそのことについて、あまり知らなかったので、祖母に聞きました。すると、祖母が子どものころは、朝会った人に「おはようございませう」とあいさつするのが、当たり前だったそうです。知らない人にもあいさつをするなんて、今では考えられません。今より平和な時代の人々の関わり方だと想像しました。

わかもの

「オアシス運動」についての記事を読みました。記事を読

変わりゆく社会

嬉野小5年 上滝 愛夢

【2024年12月24日付の佐賀新聞】

今年、何よりうれしかったです。

家での練習は、お母さんに動画を撮ってもらいました。そして、自分のおどりをしながら、「もつとこしを上げてごらん」「音楽をよく聞いて、自信をもっておどってごらん」というアドバイスをもらいました。

初めにおどったときは、低いしせいになるところが難しかったです。また、一つ一つの動作に気を付けて練習しました。

でも、最後までしっかりとおどることができて満足でした。「家でもいっぱい練習したからできたんだ」という思いになりました。

ソーラン節

嬉野小5年 田中 ほのあ

【2024年12月26日付の佐賀新聞】

私にとって「読書」とは、「物事を考えるきっかけを与えてくれるもの」です。何かの大切さを教えてくれたり、考えさせられたりして、深く考えるようになりまし

本を読まない人が増えていくんだろーと思います。

1カ月に1冊も本を読まない人が初めて6割を超えたという記事を読んで、「意外に本を読まない人が多いんだな」と思いました。最近、スマホでゲームしたりインターネットを使ったりしている

読書について

嬉野小6年 中村 瑠花



本はあなたを待っています！

【2025年1月9日付の佐賀新聞】

運動会への思い

嬭野小5年 大城 彩乃

わかも

昨年の運動会では、応援リーダーとしてみんなをまとめる役になりました。

練習の時から「応援団で優勝するために」ということを意識して、ダンスの振り付けや声だしをしてきました。また、6年生の足を引っ張らないように、そして優勝したいと思っていました。

運動会当日、競技に出ない時は、みんなを盛り上げて応援していました。私は、大きな声で応援されるといつもより力が出るので一生懸命に応援しました。

いよいよ応援合戦です。みんなの演技を見ているうちに、だんだんやる気が上がりました。きんちようはしましたが、かけ声も振り付けも練習通りにできました。結果は、応援の部は白組、パネルの部は私たち赤組が優勝でした。まとめ役は大変でしたが、6年生のために優勝したいという願いがかなってよかったです。

運動会が終わっていろんな人に「がんばったね」「ありがどうね」と言われて、応援リーダーをやったよかったなと思いました。

【2025年1月10日付の佐賀新聞】

買いだめについて

嬭野小6年 西 祐成

わかも

お米の値段が上がっている理由の一つに、買いだめが挙げられています。

読んでいる記事を読んだ。私は、災害に備えた買いだめには賛成だ。なぜなら、いざ災害が起きた時のために必要だからだ。ただし、買えなくなることを怖く感じたり、もつと値段が上がったら困ると心配して買いたくないと、ほかの人が買えなくなると、さらに値上がりしてしまうだろう。

そのようなことにならないように、日常で食べる分と災害時に食べる分だけを買うことを提案する。例えば、今食べているお米のほかに、プラス1袋を余分に買っておく。それを開封したらまた1袋買うとすれば、災害時に食べる分もあるし、賞味期限が切れることもなく、食品ロスにならずに良いと思う。また、私の家では、値上がりした分の金額は、買い物をした時にたまっているポイントを使って、無理をせずにお米を買っている。

このように、一人一人があわせてることなく、上手に考えて買いだめをすることで、お米の値上がりが落ち着いていくと考える。

【2025年1月11日付の佐賀新聞】

私にとつての読書

嬭野小6年 徳永 絢

わかも

1カ月に本を読まない人が初めて6割を超えたという記事を読んだ時、とてもビックリしました。なぜなら、私は本が好きでたくさん読んでいたからです。

記事を読み進めると、本を読む人が減った理由は、雑誌やマンガなどを電子書籍で読む人が増えたことや、SNSなどで情報を得る人が増えたからだということでした。そして、読み終わる頃には、本を読まない人が増えていくだろうな、という残念な思いになりました。

私の生活を振り返ってみると、パソコンやスマホで音楽を聞いたり、調べ物をしたりしていますが、物語などを読むことはありません。本を読むことの良さは、本の世界に入り込めて、想像力や語彙力が育ったり、表現の仕方が分かたりすることです。私にとつての読書は、いろんな知識や感情が育つ時間です。自分が主人公だったらどうするだろうと考えることが楽しいからです。

好きな本はくり返し読んで、本の色が変わっていくのも本の良さだと思つたので、みなさんも本を手にとつて読んでみてください。

【2025年1月13日付の佐賀新聞】

オアシス運動

嬭野小5年 松尾 虹花

わかも

先日の有明抄で、あいさつの記事を読みました。「挨拶」の「挨拶は聞く」「挨拶」は迫るとい意味があることを初めて知りました。また「オアシス運動」という運動があったことも知りました。

文章の中で、元プロ野球選手の中畑清さんの話題がありました。中畑さんは、大きな声のあいさつに一言付け加えたことで有名だったそうです。一言付け加えることで、心を通わせようとしていたんだろうと思いました。

私は登下校中に、地域の方にあいさつを返してもらおうと、うれし気持ちになります。だから、あいさつって大事だなと思います。私にとつてあいさつとは、周りの人をうれし気持ちにするものです。

最近、知らない人への「いかのおすし」「いか」「いらない」「のらない」「お」お声を「す」すく逃げる、「し」しらせる」のように、用心するように変わってきましたが、あいさつをすることで、みんながうれし気持ちになり、犯罪にまきこまれないようになると思います。

【2025年1月15日付の佐賀新聞】

素直になれなくて

嬭野小5年 北川 桃香

わかも

昨年一字で表すと、「悪」だったかと思ひます。その理由は、私の悪い行いが原因で、数えきれないほど「注意」と「説教」をされたからです。

その時は、「わー、また説教かい、もういいじゃん、好きなようにさせてよ」と思っていました。注意や説教をされる理由は、遊ぶ時間を守らなかったり、やめなさいと言われてもやめなかったりしたからです。学校で担任の先生から注意された時には、注意が終わったあとで、友だちとちよつと納得いかなかったことなどを愚痴っていました。

でも、家に帰って一人になると、注意されたことを思い出します。分かっているつもりやっちゃしたことや、注意されているのにイライラして「はい」と言えなかったことなど。私の心の中はいろんな思いでいっぱいになります。自分が使った言葉で友だちを傷つけてしまった時は反省もします。

そして、両親や担任の先生に対して、「素直になれなくてごめんね、そして、ありがどう」という気持ちになります。直接言えないけど、これからはこの気持ちが伝わるような行動をしていきます。

【2025年1月16日付の佐賀新聞】